

青り第157号
平成28年8月1日

報道機関各位

青森県農林水産部りんご果樹課長
(公印省略)

平成28年産りんご着果状況及び黒星病発生状況調査結果について(通知)

7月12日、13日に実施した標記調査について、結果を別添のとおり取りまとめましたのでお知らせします。



報道機関用提供資料	
担当課	りんご果樹課
担当者	生産振興グループ 今総括主幹
電話番号	直通 017-734-9492 内線 5092
報道監	農林水産部 津島農商工連携推進監 内線 4966

平成28年産りんご着果状況及び黒星病発生状況調査結果

1 調査概要

(1) 調査の目的

平成28年産りんごの着果状況及び黒星病の発生状況を調査し、高品質りんご生産のための指導に活用する。

(2) 調査月日 平成28年7月12日(火)～13日(水)

(3) 調査方法 ふじ、ジョナゴールド、つがる、王林、トキについて、県内72地点で1樹当たり100頂芽の着果数及び黒星病の被害果数を調査 ※トキのみ52地点

(4) 調査機関

県、地方独立行政法人青森県産業技術センターりんご研究所、全国農業協同組合連合会青森県本部、公益財団法人青森県りんご協会

2 調査結果及び今後の対策等

(1) 着果状況

ア 調査結果

着果状況は平年と比較すると、全ての品種で成らせ過ぎであり、また前年と比較するとふじと王林を除いて上回っている。

イ 今後の対策

全体的に成らせ過ぎの傾向なので、着果状況を点検し、適正な着果量になるまで仕上げ摘果・見直し摘果を徹底する。

<りんご着果状況・全県> (単位：%)

品 種	着果率			標準着果率
	本年	平年	前年	
ふ じ	32.8	29.9	32.8	25.0
ジョナゴールド	34.3	31.1	34.0	28.6
つがる	36.8	34.1	35.5	28.6
王 林	37.7	33.5	37.8	25.0
ト キ (参考)	35.8	—	34.6	25.0

注) 平年値：昭和61年～平成27年までの30か年の平均

標準着果率：県が基準とする適正な着果程度

(2) 黒星病の発生状況

ア 調査結果

津軽地域では、いずれの品種も黒星病の被害果が見られ、摘果対応している園地が多かった。なお、県南地域では黒星病の被害果は見られなかった。

県全体での「ふじ」の黒星病の被害果率は2.7%であった。調査時の着果率（32.8%）から黒星病を含む障害果率（2.9%）を引いても29.9%と、標準着果率（25%）を上回っており、平年並みの生産量を確保できる見込みである。

〈りんご着果率及び障害果率・全県〉 (単位：%)

品 種	着果率	黒星病等障害果発生状況		標準着果率
		障害果率 (うち黒星病)	障害果を除いた着果率	
ふ じ	32.8	2.9(2.7)	29.9	25.0
ジョナゴールド	34.3	1.3(1.0)	33.0	28.6
つがる	36.8	3.9(1.5)	32.9	28.6
王 林	37.7	3.5(3.0)	34.2	25.0
ト キ (参考)	35.8	3.4(3.1)	32.4	25.0

注) 障害果：黒星病被害果、サビ果、キズ果等

イ 発生要因

本年黒星病の発生が多くなった要因として、現時点では、

- ① 昨年黒星病が発生した園地において、被害を受けた葉や果実が適切に処理されなかったことにより、越冬した伝染源の密度が高くなったこと
 - ② 雪解けが早く、生育が早かったことから、1回目の薬剤散布の前の4月中旬の降雨の時期にすでに感染していたこと
 - ③ 4月末の降雨により、越冬伝染源や4月中旬に感染した葉から胞子が飛散し、感染が拡大した可能性があること
- などが考えられる。

ウ 今後の対策

(ア) 8月下旬まで

- ① 適期防除と適正散布量を遵守する。
- ② 被害果と被害葉の摘み取りの徹底及び適正な処分を行う。ただし、果実被害が多い園地では、樹勢を考慮しながら摘み取り、処分するよう留意する。

(イ) 9月～収穫後

- ① 見落とした被害果や被害葉を摘み取り適正に処分するとともに、落葉の処理（除去・鋤き込み（積雪が遅い場合等））を徹底する。
- ② 秋季感染による被害葉の発生も想定されるので、黒星病の発生が見られる園地では、9月15日頃にすす斑病・すす点病の特別散布で使用される薬剤の中から黒星病に効果の高い薬剤を選択し特別散布する。

(ウ) 次年度

- ① 落葉処理
発芽前までに残った落葉を処理する。
- ② 薬剤散布の追加
雪解けが早く生育が早い場合や、本年の発生が多く、菌密度が高いことが予想される園地では、早期感染の危険性が高いことから、芽出し当時（約8～9割が発芽した頃）の散布を1回追加する（次年度の防除暦や防除指針で見直す予定）。
- ③ 黒星病の感染予察
りんご研究所で子とう胞子の飛散の状況を調査し、情報提供する。